

The logo for Okamoto, featuring the word "okamoto" in a white, lowercase, sans-serif font inside a green rounded square. A thin white vertical line is positioned to the left of the text.

okamoto

第121期

株主通信

2016.4.1 ▶ 2017.3.31

New Basic
身近な暮らしを科学する

オカモト株式会社

「株主のみなさまへ」 - ご挨拶 -

株主のみなさまには、平素よりひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第121期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、

一言ご挨拶申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、個人消費の低迷が長期化しているものの、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、新興国経済の減速、英国のEU離脱問題、米国の新政権による政策運営等、海外情勢の動向が依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、コスト削減と販売力の拡充に努め、引き続き経営の効率化および合理化を図り、景気の波に左右されない企業を目指してまいりました。

その結果、当期の連結売上高は866億4百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は原価率の低減と為替の影響により104億31百万円（前年同期比26.6%増）、経常利益は107億38百万円（前年同期比11.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は前年の減損損失の計上がなかったため79億52百万円（前年同期比56.9%増）となりました。

期末配当金は1株当たり8円とし、年間配当金では1株当たり15円とさせていただきます。

今後も持続的な成長を果たすために、コストダウン等の

身を削る経営だけではなく、将来への成長をより加速させ維持するため、国内工場はもとより、海外工場を中心に収益の基盤を広げ、さらに強固なものにするための設備投資を進めてまいります。また、コア事業のさらなる拡大のため「身近な暮らしを科学する」を掲げ、人々の生活に役立つ様々な製品を幅広く供給し、広く社会から厚い信頼の得られる企業グループを目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

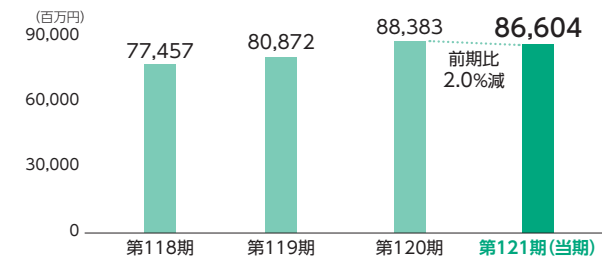


代表取締役社長 岡本良幸

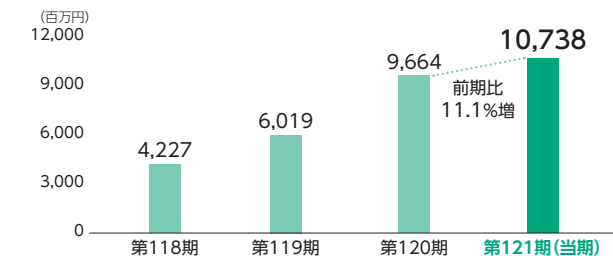
主要連結財務データ

	第118期 2014年3月期	第119期 2015年3月期	第120期 2016年3月期	第121期(当期) 2017年3月期
売上高	77,457 百万円	80,872 百万円	88,383 百万円	86,604 百万円
営業利益	3,255 百万円	4,561 百万円	8,237 百万円	10,431 百万円
経常利益	4,227 百万円	6,019 百万円	9,664 百万円	10,738 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	2,554 百万円	2,880 百万円	5,067 百万円	7,952 百万円
1株当たり当期純利益	25.28 円	29.07 円	51.52 円	80.95 円
総資産	78,261 百万円	83,385 百万円	86,284 百万円	94,972 百万円
純資産	44,006 百万円	47,007 百万円	49,208 百万円	57,016 百万円
1株当たり純資産	442.03 円	476.81 円	500.83 円	580.38 円
配当	8.75 円	10.00 円	11.00 円	15.00 円

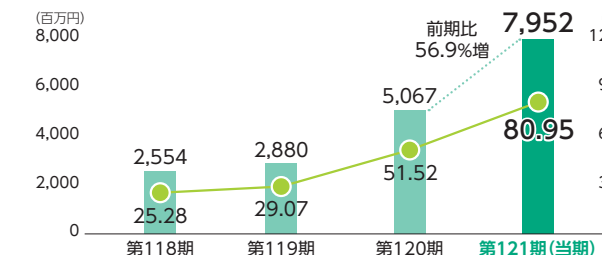
● 売上高



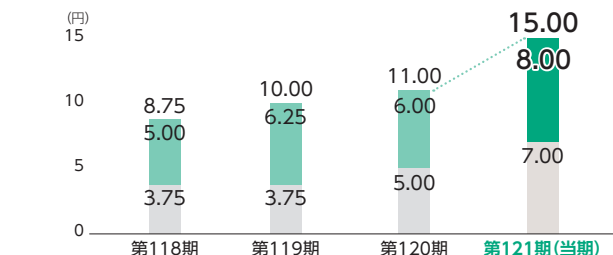
● 経常利益



● 親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



● 配当



会社概要 (2017年3月31日現在)

社名 オカモト株式会社
 設立 1934(昭和9)年1月10日
 資本金 13,047,630,757円
 (東証1部上場銘柄)
 従業員数 1,016名
 本社 〒113-8710
 東京都文京区本郷3丁目27番12号
 電話(03)3817-4111(代表)
 大阪支店 〒540-0022
 大阪府大阪市中央区糸屋町2丁目4番6号
 電話(06)4793-8500(代表)
 名古屋営業所 〒461-0025
 愛知県名古屋市東区徳川1丁目901番地
 電話(052)933-1171(代表)
 福岡営業所 〒815-0035
 福岡県福岡市南区向野1丁目13番9号
 電話(092)557-2600(代表)

役員 (2017年6月29日現在)

代表取締役会長	岡本 二郎	取締役	野寺 哲生
代表取締役社長	岡本 良幸	取締役	高橋 慶太
専務取締役	田村 俊夫	取締役	岡本 優
専務取締役	矢口 昭史	社外取締役	相澤 光江
常務取締役	池田 佳司	取締役	有坂 衛
常務取締役	高島 寛	社外取締役	深澤 佳己
常務取締役	岡本 邦彦	社外取締役	荒井 瑞夫
取締役	土屋 洋一		
取締役	田中 健嗣		
取締役	河村 智		

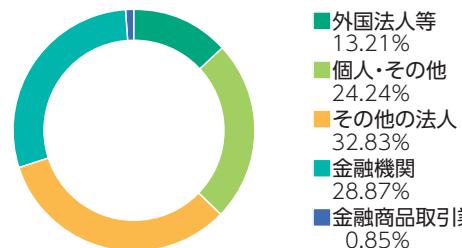
株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数 400,000,000株
 発行済株式総数 98,556,816株(自己株式を除く)
 ※上記より控除した自己株式数 3,440,023株
 株主数 6,637名
 大株主

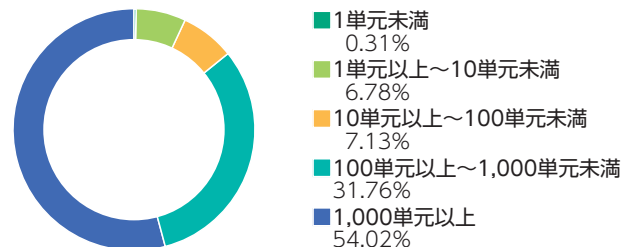
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
明治安田生命保険相互会社	7,426	7.54
丸紅株式会社	7,211	7.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	6,442	6.54
株式会社みずほ銀行	4,896	4.97
有限会社八幡興産	3,530	3.58
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	3,093	3.14
やよい会	2,998	3.04
みずほ信託銀行株式会社	2,944	2.99
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,444	2.48
平井商事株式会社	1,886	1.91

(注) 1. 信託銀行の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数
 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 6,442千株
 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 3,093千株
 みずほ信託銀行株式会社 122千株
 2. 持株比率は自己株式を除いた発行済株式総数に対する割合です。

所有者別株式分布状況



所有株式数別株式分布状況



CLOSE UP オカモト女視プロジェクト

当社では、女性の視点・消費者の立場からものづくりを行う、女性社員で構成されたプロジェクト、“もっと good! 女視プロジェクト”という活動を行っております。

当社製品は女性のお客様にご購入いただく製品も多く、内部マーケティングの位置づけとして、2012年12月に当プロジェクトは発足いたしました。

当プロジェクトは“女視会”とも呼ばれ、月2回活動し新製品提案・リニューアル時の改善提案などのサポートを行っております。

活動も5年目を迎え、携わった製品の中から4つのアイテムが製品化され、お客様からもご好評を頂いております。

今後も、女性の活躍の場を広げると共に、よりよい製品開発のためのプロジェクトとして引き続き活動してまいります。



女視プロジェクト会議の様子

今までに女視プロジェクトにより製品化された製品



クリーンシャワー4P



クリーンシャワー携帯用



やさしいラップ

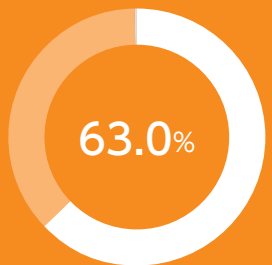


水とりぞうさん クローゼット用パッケージ

産業用製品部門

産業用製品部門の中心は、原油由来の原材料からフィルムシートを製造し、他の事業者へ供給することにあります。そのため、為替相場や原油価格の大幅な変動による原材料価格の高騰や燃料費の高騰の影響を強く受けやすい環境にあります。

そのような事業環境のなか、工場の生産性のさらなる向上に努め、また新規顧客の開拓などに注力した結果、第121期の業績は、13億円の増収（前年同期比2.5%増）となりました。



◆◆◆ 多層フィルム事業

多層フィルム事業では、レトルト食品包装等の食品用フィルム・輸液バッグ外装等の医療用フィルム・リチウムイオン電池外包装に使用する電池用フィルム等を製造しております。電池用の需要拡大と食品用の新規受注取り組により売上増となりました。



◆◆◆ フィルム事業

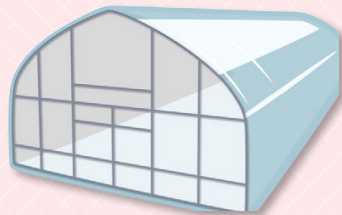
フィルム事業のうち、一般用・工業用フィルム事業では、手帳等の文具・工場の間仕切りや養生用・クリアフォルダ・看板広告等の広告宣伝物等に用いられるフィルムを製造しております。最近では海外からの注文にも対応しております。

また、建材工業用フィルム事業では、2次加工品を中心に、ユニットバス用・自動車用・宣伝広告メディア用等の分野で市場のニーズに幅広く対応しています。



◆◆◆ 農業用フィルム

農業用フィルムでは、ポリ塩化ビニルおよびポリオレフィンを原料として、農家のビニルハウス用フィルムを製造しております。2015年12月より農POフィルムの2号機を導入し2台体制により商品拡充を行い、営業活動に注力した結果、売上微増となりました。



◆◆◆ 壁紙事業

壁紙事業では、静岡工場デザインセンターでのデザイン開発力および技術力を通じ、顧客ニーズに応えながらさまざまなデザインや機能をもった壁紙を製造しております。

当期は、集合住宅向けの受注好調により売上増となりました。また、2018年より壁紙の専用工場であるつくば工場が本格稼動に入ります。



◆◆◆ 粘着テープ・工業用テープ事業

粘着テープ事業では、ホームセンターなどで購入できる粘着テープ・物流業者向け梱包用テープだけではなく、住宅用防水テープ・産業用特殊テープ等を製造しております。

また、工業用テープ事業では、スマートフォン部材用テープ・家電メーカー向け固定用テープ・自動車向けテープ等を製造しております。

粘着テープおよび工業用テープ事業ともに、売上微増となりました。



◆◆◆ フレキシブルコンテナ事業

フレキシブルコンテナ事業では、原油由来の樹脂や飼料などを保管・運搬するためのバッグを福島工場で製造しております。フレキシブルコンテナ事業は需要減となり、売上減となりました。



◆◆◆ 自動車内装材事業

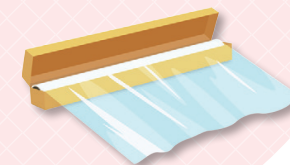
自動車内装材事業では、自動車のダッシュボード・座席・ドア等に使用される内装表皮のほか、二輪車座席用・家具用のプラスチックレザーを製造しております。日本の各自動車メーカーのグローバルでの販売が引き続き好調で、前年同期比売上微増となりました。



◆◆◆ 食品衛生関連事業・食品用脱水・吸水シート事業

食品衛生関連事業では、食品関連事業者向けに食品用ラップフィルムおよび手袋を、また一般家庭向けに食品用ラップフィルムを製造・販売しております。当期は市場縮小による業務用ラップの販売が苦戦したものの、手袋等において新規顧客採用により売上横這いとなりました。

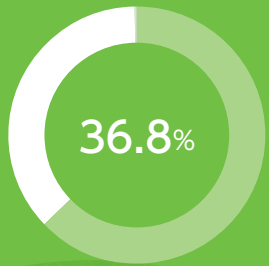
また、食品用脱水・吸水シート事業では、肉や魚の鮮度を保つ「ピチットシート」等を製造・販売しております。当期は不漁に起因する産地加工向け需要の減少により、売上減となりました。



生活用品部門

生活用品部門は、コンドーム・除湿剤・カイロ・家庭用手袋など消費者の皆さまに直接お使いいただく製品が中心ですが、業務用手袋・滅菌器など事業者向けの製品もございます。

コンドームのインバウンド需要の勢いは緩やかになりつつも「オカモトゼロワン」を中心とする薄物製品の販売が好調で、また海外市場においても好調に推移しました。しかしながら、暖冬の影響によりカイロ・ブーツなどの季節や天候に販売が左右される製品が落ち込んだ結果、第121期の業績は31億円の減収(前年同期比8.9%減)となりました。



除湿剤事業

除湿剤事業では、“水とりぞうさん[®]”のブランドで除湿剤を販売しております。

当期は“水とりぞうさん[®]”のブランド力のさらなる強化とシートタイプの拡販を行い、さらに梅雨時期だけでなく秋雨企画や冬季の結露企画など年間を通して積極的な企画提案も行い、前年を上回る販売を達成することができました。



コンドーム事業

コンドーム事業では、茨城工場およびタイ工場の2拠点体制で製造を行い、天然ゴムラテックス製および水系ポリウレタン製のコンドームを販売しています。また女性用の使い切りビデも茨城工場で製造し販売を行っております。

当期はインバウンド向けの需要が大きく取り上げられ人気を博している0.01mm台のポリウレタンコンドーム“オカモトゼロワン”をはじめ、幅広いラインアップを展開し前年に比べ売上増となりました。

また中国を含むアジア市場を中心に海外にも積極的に展開しており、2018年より深圳市(中国)のコンドーム工場が本格稼働いたします。



カイロ事業

カイロ事業では、『貼るカイロ』『貼らないカイロ』を茨城工場にて製造しております。“快温くん[®]”“温泉[®]”という従来からのブランドに加え、“快温くんプラス”というシリーズも展開し「温度2段階」「即暖」といったお客様のご要望に応える付加価値商品もラインアップして積極的に販売を行いました。当期は、シーズン前半に気温の高い日が多かったため、販売金額は前年を下回る結果となりました。



手袋事業

手袋事業では、茨城工場およびタイ工場において家庭用・炊事用手袋・作業用手袋のほか、精密機器メーカーのクリーンルーム用手袋等を製造・販売しております。クリーンルーム用は堅調でしたが医療用が低調で売上微減となりました。



メディカル事業

メディカル事業では、国内子会社が製造する医療機関向け滅菌器のほか、医療従事者および介護従事者向けの手袋を販売しております。

滅菌器販売台数は微増となりましたが、使い捨て手袋が減少し、売上減となりました。



ブーツ・雨衣事業

ブーツ・雨衣事業では、国内とベトナムの自社工場、中国協力工場にて製造しホームセンターを中心に長靴・雨衣・安全スニーカーを販売しております。

また「Wrangler」「LOTTO WORKS」といった有名ブランドのライセンス製品の販売もしております。長靴・雨衣については、価格見直しおよび天候の影響で売上減となりました。



その他事業

群馬工場跡地(群馬県太田市)の合計57,000㎡の敷地にソーラーパネルを設置し、最大出力として合計約4,000kWhをもって太陽光発電事業を行っております。

再生可能エネルギーの安定供給に努め、今後も社会に貢献してまいります。

オカモトの技術を支える国内生産拠点

製品のライフサイクルはますます短縮化しつつあるなかで、この変化の速度に対応し、お客様にご満足いただくため、快適・安心・豊かさを考慮しそれぞれの工場において特長ある生産技術と、最適の製造ラインを備えた生産拠点を整備して、厳正な品質管理のもとで製品を生産しております。



静岡工場 生活の“快適”を生産します。

広大な敷地に広がる静岡工場では、ビニルフィルム・建装材・産業資材など、一次製品を中心に製造を行っています。この工場で製造される製品は、多彩な製品に姿を変え、暮らしにしっかりと根づいて活躍しています。緑豊かな自然環境のなかで、時代が求める商品に最適な素材を研究開発している「ダイナミックな工場」として、市場の変化を的確にとらえた新素材、暮らしの快適に貢献する製品をお届けします。

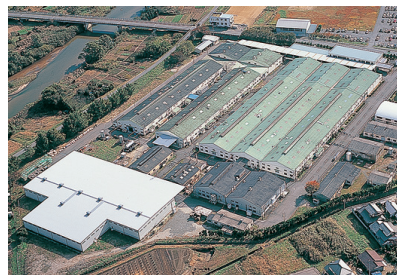
生産品目	ビニルフィルム、ビニルレザー、農業用フィルム、ビニル壁紙、車輻内装材など
所在地	〒421-0304 静岡県榛原郡吉田町神戸1番地
電話	0548-32-7121(代表)
F A X	0548-32-7589(総務人事)
敷地	約230,000m ²



茨城工場 生活の“安心”を生産します。

四季折々に姿を変える大自然に包まれた茨城工場は、コンドーム・家庭用手袋・粘着テープなど、生活のなかで直接役立っている製品の製造が中心です。特に、コンドームは独自に開発した生産ラインで製造を行っています。暮らしに身近な製品を、高度な技術で開発している当工場では、研究開発に適した環境のなかで、信頼性・扱いやすさ・安全性など基本性能を高めた、暮らしに安心の製品づくりをしています。

生産品目	コンドーム、粘着テープ(包装用、建材用、工業用)、手袋、カイロ、食品用脱水・吸水シート
所在地	〒301-0801 茨城県龍ヶ崎市板橋町字西山1番地
電話	0297-62-1211(代表)
F A X	0297-60-1132(総務人事)
敷地	約162,000m ²



福島工場 生活の“豊かさ”を生産します。

福島工場は、川や緑などの自然豊かな地域に設置されています。3工場のなかで規模は小さいながら、プレス製法・押出製法・インジェクション製法など、複数の製造方法でさまざまな製品がつけられており、多様化するニーズをしっかり受け止め、暮らしを豊かにするゴム・プラスチック製品づくりを行っています。

生産品目	ポリプロピレンシート、除湿剤、食品包装用ラップ、フレキシブルコンテナ、水枕、ゴムバンド、インジェクションブーツ
所在地	〒979-3131 福島県いわき市平赤井字日渡71番地
電話	0246-24-1192(代表)
F A X	0246-21-1841(総務人事)
敷地	約80,000m ²

オカモトの海外拠点

当社グループでは、世界各地で生産・販売拠点の拡充を積極的に進めており、日本国内はもとより米国・アジアをはじめとしたグローバル市場でも大きな躍進を続けています。

変化の激しいグローバル市場においても国内同様、高品質な製品を作り続けることに変わりはありません。今後も、多様化するお客様のニーズに対応できる競争力ある製品を開発していくことで、世界中で「オカモトブランド」への信頼感を高めてまいります。

タイ

- Siam Okamoto Co.,Ltd.
事業内容: ラテックス手袋の製造

中国

- 岡本貿易(深圳)有限公司
事業内容: 車輻レザーの輸入販売、コンドームの輸入販売
- 広東岡本衛生科技有限公司
事業内容: コンドームの製造

米国

- Okamoto U.S.A.,Inc.
事業内容: 産業用製品、医療・日用品の販売
- Okamoto Sandusky Manufacturing, LLC
事業内容: 車輻内装材の製造、販売

香港

- 岡本(香港)有限公司
事業内容: 産業用製品、シューズ、衣料・スポーツ用品、医療・日用品の販売

ベトナム

- Vina Okamoto Co.,Ltd.
事業内容: ゴム長靴の製造
- OKAMOTO VIETNAM Co.,Ltd.
事業内容: 雨衣の製造

TOPICS

当社グループのさまざまな活動や取り組みをご紹介します。

イチジク浣腸×サマソニ コラボレーション

イチジク製薬株式会社は、各大学のミスキャンパスで構成される「キャンパスラボ」と共同で実施している「カラダの中からキレイラボ」プロジェクトの一環として、2016年8月20日(土)、21日(日)に千葉マリスタジアム・幕張メッセで開催された都市型夏フェスの代表格「SUMMER SONIC 2016」の女子トイレをジャックし、若年層への認知度を上げるため便秘やイチジク浣腸のPRを行ないました。「ちょー(超/腸)きれいなコ」をキャッチコピーに、当日はイチジク浣腸のパッケージにラッピングされた仮設トイレ



イチジク浣腸のパッケージにラッピングされた仮設トイレ

トイレを設置し、来場した女性がメイク直しをできる「爽快パウダールーム」も設置しました。パウダールームには、イチジク浣腸と「SUMMER SONIC 2016」のコラボレーションパネルや爽快感を味わってもらえるようなブランコも設置し、フォトスポットとしても利用できるようにしたところ、TwitterやInstagramなどのSNSに投稿があり多くの若者にもイチジク浣腸を知ってもらおうきっかけとなりました。



「爽快パウダールーム」の入口



パウダールーム内のフォトスポット

「Panther / パンサー」完全復刻!

世界長ユニオン株式会社では、1964年、アジア初の東京オリンピックの年に誕生したスポーツシューズ「Panther / パンサー」を完全復刻しました。

世界規模の一大スポーツイベントの開催によりスポーツ競技人口が増加することにいち早く着目し、トレーニングシューズの開発に着手。その名の通り「Panther (黒豹)」をイメージした俊敏さに溢れるデザイン性と軽快なフォルムで70年代にはトレーニングシューズの代名詞として多くのトップアスリートから愛用され一世を風靡。そして長い沈黙を破り、さまざまなシューズ開発で培ったブランドアイデンティティを継承しつつ進化を遂げながら、シューテックオカモトの紡がれる技術「メイド・イン・ジャパン」の繊細な60にも及ぶ工程によって再生した珠玉のプロダクトが2016年に満を持して復刻し、人気スニーカーショップやセレクトショップで取り扱われたことで一躍注目を集めました。往年のファンからファッションコンシャスな次世代の若者までさまざまな反響を獲得しています。



アイコンモデル「パンサー デラ」

オカモトの社会貢献活動

よりよい社会を実現するためにさまざまなCSR活動に取り組んでいます。

HIV/AIDSをはじめとする性感染症に対する啓発イベント実施!

当社は、12月1日の世界エイズデーに合わせた啓発イベントを、2016年12月10日(土)にベネトンジャパン株式会社/公益財団法人エイズ予防財団と共に3社共催で実施いたしました。 Condoms及びHIV/AIDSの検査・予防に関する啓発資材を、今回はターゲットとなる若者が多く集まる街を選定し、下北沢でサンプリングいたしました。

また、2016年夏には当社が運営するwebサイト「LOVERS研究所」の主催で、若者に向けたSTI検査普及・予防啓発の取り組みの一環として『LOVERS研究所 presents 2016.夏 レッドリボンカップ バブルサッカー大会』を開催。東京・大阪・愛知・広島の全国4都市で地区予選を行い、見事勝ち抜いた4チームが7月30日(土)に「お台場夢大陸」で全国決勝大会に参加し熱い戦いを繰り広げました。大会では、レッドバンドの着用や啓発情報の掲出や冊子の配布、HIV/AIDSをはじめとする性感染症についてのクイズなども行い、参加した多くの若者や会場への来場者にスポーツを通じてSTI(性感染症)やHIV/AIDSについて考えるきっかけを与えました。なお、出場者の大会参加費は、全て公益財団法人エイズ予防財団へ寄付させていただきました。

今後もHIV/AIDSをはじめとする性感染症や望まない妊娠といった課題がある限り、自分とパートナーを守る「セーフターセックス」の理解を深め、エイズ問題を風化させないためにイベントやWEBサイトなどを通じた情報発信に積極的に取り組んでまいります。



バブルサッカー大会の様子

献血によるボランティア活動



本社前に駐車した献血車

当社では、CSR活動の一環として、年に2回、本社ビルで日本赤十字社の献血に協力しています。

日本赤十字社の方にお越しいただき、社内だけではなく近隣企業の従業員の方、また近所にお住まいの方など多くのみなさまにもご協力していただいております。

2016年は約100人を超えるみなさんに献血をしていただきました。

今後も当社は献血によるボランティア活動を通じて、社会に貢献してまいります。

● イチジク製薬株式会社 ●

1925年、田村廿三郎医師がイチジク印軽便浣腸を開発したことは始まり、以後90年以上にわたり「イチジク」ブランドで浣腸を製造・販売してきた家庭薬メーカーです。

便秘は、男女年齢問わず、とても身近な問題であり、時には深刻な症状にも発展するおそれのあるものです。浣腸は、飲まない便秘の薬として、0歳児用から成人用まで、高品質で豊富なラインアップの商品を取り揃えております。特に赤ちゃんを持つ若いお母様方へ赤ちゃんの便秘について啓発活動を積極的に取り組んでいます。

現在、スカイツリーから徒歩数分の場所に本社工場を構えております。当社グループ唯一の製薬会社として、今後も浣腸一筋で精進してまいります。



▼イチジク浣腸30
「青色」と「白十字」のデザインをシンボルとして35年以上にもわたり販売しているロングセラー商品です。



● 船堀ゴム株式会社 ●

1959年、東京都江戸川区船堀の地で創業して以来、コンドームと同じ天然ゴムラテックスを主たる原材料とした「工業用指サック」を製造販売するメーカーです。

「薄くて・丈夫で・柔らかくて使いやすい」というゴムの特性を生かした製品のため、電子・精密機器部品などの製造現場で使用されています。

さらに、硫黄・亜鉛の混入を嫌う顧客向けの製品や、帯電防止製品等の特殊な製品も取り扱っているほか、2013年にはオカモトグループとなったシナジー効果を生かし、業務用コンドームの販売も開始しております。また2014年9月に業務用コンドームなどのルートに潤滑剤付の指サック「指ドーム」を発売しています。



▲2014年9月に発売された「指ドーム」。

● オカモト化成品株式会社 ●

主に当社の汎用プラスチック・フィルム製品の販売窓口として設立され、現在ではフィルムの原反のみならず、農業用フィルム・粘着テープ・食品用ラップ・手袋、長靴・雨衣なども販売する会社です。

当社の各事業部と共同しながら、当社とは異なる視点で営業活動を展開しており、きめ細かいサービスを提供しております。また、独自に加工・施工のネットワークを構築し、これらを駆使して顧客のさまざまなニーズに応えています(右写真は中部事業所にてフィルムを加工している模様です)。こうした幅広い活動を通じて、当社の販路開拓・事業拡大に貢献しています。



● ヒルソン・デック株式会社 ●

1980年の創業以来、第二種医療機器製造販売業としての許可を取得し、医療機関が器具を滅菌する際に使用する滅菌器を製造してきた専門メーカーで、2000年に当社の子会社となりました。

病院・診療所・歯科医院などのお客様の用途に応じて、フロア設置型から卓上型まで豊富なラインアップを取り揃え、当社を通じて販売しております。

滅菌器の製造を通じて、医療の現場に密接に関わり、医療業界全体の発展のため貢献してまいります。



● 世界長ユニオン株式会社 ●

1919年創業の「大阪ゴム底足袋株式会社」(1964年、世界長株式会社に商号変更)と、1952年創業の「ユニオン製靴株式会社」(1990年、株式会社ユニオン・ロイヤルに商号変更)に、当社シューズ事業部が統合した会社です。革靴・スニーカー・スポーツ靴を製造・販売しており、オリジナルブランドやライセンスブランドを展開しております。

現在も日本国内において天然皮革の製靴工場を運営しており、同工場に勤務する職人たちを中心として、長年にわたり培った技術を発揮し、「世界に誇る靴づくり」をマーケットに発信してまいります。

● オリジナルブランド商品 ●

Union Imperial (ユニオン インペリアル)

本場イタリアでの製法を日本で最初に取り入れ、日本人の足型に合わせて再構築(“ハンドソーン・ウェルテッド製法”)。昔ながらの手作業により一足一足を美しい輝きとシルエットに、丁寧に仕上げ提供しています。



TOPAZ(トパーズ)

靴医学の権威・井口傑医学博士監修による、『軽くて・歩きやすく・疲れにくい』をテーマに開発した女性向けコンフォートシューズの先駆的存在。1986年の発売開始から累計1,600万足の販売を達成したロングセラー商品です。



● ライセンスブランド商品 ●

MARELLI(マレリー)

1906年、イタリアのガララーテに創立されて以来、その優れた芸術性と確かな職人気質でヨーロッパの伝統的エレガンスと洗練された美意識を提案し続けてきました。Eleganza & Solidita (伝統的イタリアンエレガンスと確かな靴づくり)をテーマにより高度な技術、より高品位なスタイルを追求しています。

a.v.v(アー・ヴェ・ヴェ)

幅広い層に支持されているファッションブランド『a.v.v.』。フレンチトラッドにその時々々のトレンドをほどよく取り入れたスタイルに“快適な履き心地”をプラスした商品をリーズナブルな価格で提案しています。



Dr.ASSY(ドクター・アッシー)

「甲高・幅広」が多い日本人にとっての履きやすい靴づくりを徹底的に研究・開発した商品。つま先の形状に沿った木型を採用しており(オブリーク・トゥ)、この木型のおかげで靴の中では指先でしっかりと大地を感じることができます。イメージモデルの渡辺正行氏とともに、「働くニッポンを、足下から応援したい!」というメッセージを発信しております。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(http://www.okamoto-inc.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

証券会社に口座をお持ちの場合

郵便物送付先	お取引の証券会社になります。
電話お問い合わせ先	
お取扱店	
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、下記の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

特別口座の場合

郵便物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。



New Basic
身近な暮らしを科学する
オカモト株式会社

〒113-8710 東京都文京区本郷3丁目27番12号
(03)3817-4111(代表)

<http://www.okamoto-inc.jp/>

